

平成22年の10大ニュース

順位	項目	説明
1	養豚企業の誘致決定	<p>平成20年9月に「大館市畜産農業施設等設置促進条例」を制定し、畜産企業への誘致活動を展開してきた結果、早口字菅谷地地区に株式会社シムコの養豚農場を誘致することに成功。</p> <p>誘致した株式会社シムコは、全国で種豚の繁殖や肉豚の肥育、販売をしている会社であり、地元雇用も含め、今後、市の畜産業振興に向け、大きな一歩を踏み出した。</p>
2	住宅リフォーム補助金が大好評	<p>住宅リフォーム補助金を7月からスタートしたところ、申込みが殺到。</p> <p>工事内容は、屋根・外壁の塗装、葺き替え、トイレ・風呂の改修（下水道や浄化槽接続に伴う）が主なもので、予想を超える600件の申請となった。</p> <p>工事費の総額も12億円を突破し、地域経済の底支えとなっている。</p>
3	「日沿道」二ツ井白神IC～あきた北空港IC間が、「概略計画」から「計画段階」へレベルアップ	<p>11月19日に、日本海沿岸東北自動車道（二ツ井白神IC～あきた北空港IC）が、国土交通省所管公共事業における計画段階評価の試行箇所にて採択。</p> <p>今後の事業化にむけて大きな進展が図られた。</p>
4	ハチ公小径のグランドオープン	<p>旧正札竹村・旧館棟解体跡地に、多目的通路「ハチ公小径」がグランドオープン。</p> <p>大型スクリーン、ステージ、音響設備等を整備し、6月にはサッカーワールドカップのパブリックビューイングを開催。12月には、飲食、物販ブースが出揃い、にぎわいの溢れる小径となるよう期待されている。</p>
5	比内地鶏鶏糞処理施設建設候補地決定	<p>比内町時代から長年の懸案となっていた比内地鶏の鶏糞処理施設の建設にあたり、市が主体的に建設を進めていくため、2月12日に協議会を設立。建設候補地と処理方式（縦型密閉式処理装置）を決定した。</p> <p>平成23年度中に建設予定。</p>
6	異常気象や病害虫の異常発生で、水稻やトンプリなどの農作物に被害	<p>異常気象により、高温障害などで水稻の作況指数は「不良」、また、品質低下により一等米比率が昨年比で22ポイント下落。トンプリも病害虫の異常発生と高温障害による不稔で、平年よりも5割減収。農業収入は大幅な減少となった。</p>
7	地域応援プランの創設	<p>市民が主体となり、自ら取り組む地域活性化や地域課題の解消に向けた地域づくり活動を応援するための「地域づくり協働推進支援事業（愛称：地域応援プラン）」を創設。</p> <p>初年度となった今年は、59件の応募事業の中から、42団体の事業が採択され、独自の地域活性化に向けた地域応援プランが始動した。</p>
8	生ハム工場(白神フーズ株式会社)が操業を開始	<p>平成20年3月に廃校となった旧山田小学校に誘致した生ハム工場(白神フーズ株式会社)が、地元から10人雇用して1月から操業を開始。</p> <p>廃校舎を活用した新しい形の企業誘致として、全国から30件以上の視察が相次いだ。また、同社の誘致は、中山間地域の地域づくり対策としても注目されているほか、同社が製造する生ハムについても、今後の市の特産品として大いに期待されている。</p>
9	秋田三鶏記念館がオープン	<p>4月1日、国県の天然記念物である秋田三鶏のふ化・育雛の拠点として、秋田三鶏記念館がオープン。</p> <p>来客数も3,000人を突破し、観光スポットとしても大いに注目を集める。</p>
10	携帯電話を利用する「緊急時情報一斉配信システム」が稼動	<p>4月から、緊急時等の必要な情報を携帯電話に電子メールで配信する「緊急時情報一斉配信システム」が稼動。</p> <p>現在の登録者は市長部局職員が約80%、行政協力員が33%。新年より、消防団員と民生委員、そしていよいよ一般市民の登録を募る予定である。</p>

# 平成22年 10大ニュース

	総務部	市民部	産業部	建設部	教育委員会	市立病院	消防	比内総合支所	田代総合支所
1	市職員採用試験行政事務合格者数が8年ぶりに、二けた	食育推進計画の策定と事業の実施	養豚企業の誘致決定	「日沿道」二ツ井白神IC～あきた北空港IC間が、「概略計画」から「計画段階」へレベルアップ	秋田三鶏記念館がオープン。	DPC準備病院としてスタートを切る	住宅用火災警報器の普及推進値が、全県第1位を記録。	比内地鶏糞処理施設の建設用地を決定	養豚誘致企業の決定
2	市有林無断伐採に関する民事訴訟の提起	へき地保育所が指定管理に	比内地鶏糞処理施設建設候補地決定	住宅リフォーム補助金が大好評	町割400年記念事業の開催。	新CTの導入	機動分団化事業スタート。比内第二分団に多機能型車両を配備。	大葛地区への「地域おこし協力隊員」に県外から2名を採用	たけのこ採りの遭難者ゼロ
3	携帯電話を利用する「緊急時情報一斉配信システム」が稼働	こども手当、父子家庭への児童扶養手当が開始	生ハム工場(白神フーズ㈱)が操業を開始	独鈷中野地区全域で農業集落排水の供用開始	中央図書館の移動図書館車(ブックモバイル車)を更新。	フィルムレス化の推進	救急救命士 2名誕生(総勢24名となった)	異常気象や病害虫の異常発生で、水稲やトブリなどの農作物に被害	糸滝周辺の滑落事故ゼロ達成
4	電子決裁スタート	元気発信!! 始めるプロジェクト	どぶろく特区認定	ハチ公小径のグランドオープン	放課後児童クラブで時間延長を試行。	院内保育所の完成(愛称”はっちランド”)	北分署に高規格救急車及び消防ポンプ自動車の更新配備	行政組織機構改革により、比内総合支所は3課から2課体制に	熊出没、入山者が襲われてケガ
5	第4次行財政改革大綱策定	がん検診受診率向上事業	コンポストセンター大規模改修実施	市道二中長面袋線の事業化	比内公民館が文部科学大臣表彰。	セカンドオピニオン外来の設置	佐竹知事、出初め式に出席	元比内町長大澤清治氏、秋の叙勲で「旭日中綬章」受章	田代地域の施設の指定管理者決定
6	平成22年国勢調査の実施	高齢者の所在確認が話題に	ウェルカムプランで観光振興	ゼロダテ/大館展2010の開催	大館親子読書会が文部科学大臣賞を受章。	がん診療市民医学講座の開催	猿間集中豪雨による土砂被害で避難指示	地域応援プラン(地域づくり協働推進支援事業)がスタート 比内地域から7団体の計画が採択	集中豪雨で林道に大被害
7	合併5周年記念事業として、平成22年度行政協力員大会及び記念コンサート等を開催	介護施設が相次いで開所	大葛地区の地域おこし協力隊が赴任、活動開始	大館踏切の歩道を拡幅	長根山陸上競技場の第2種公認更新事業が完成。	認定看護師の誕生	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(福島県郡山市)に6名参加	小泉地区で携帯電話の通話が可能に	味噌内橋補修工事完成
8	小泉地区の携帯電話エリア化完了	小柄沢墓園墓地120区画の提供	(新)大館市土地改良区の合併認可を申請	橋桁地区水道未普及地域解消事業着手	第一中学校に武道場が完成。	病院広報誌”おおだて病院だより”を刊行	消防団協力事業所として三事業所を認定	グリーンツーリズム・体験型観光の受入れ拡大	アメリロ大発生
9	過疎地域自立促進計画策定	溶融スラグ製品化事業開始	地域応援プランの創設	「古片山下街区公園」事業着手	新教育長に高橋善之氏が就任。	扇田病院で映画ロケ撮影	救急出動件数新記録	扇田地区米代川河川緑地公園でイベント 扇田まちづくり協議会が「河川公園祭り」を開催	課の統合
10	7月の大雨により猿間地区へ避難指示・勧告を発令。夏の大雨被害等相次ぐ。ダウンパーセントも発生	介護保険料の平準化と介護サービスの改善	東北新幹線全線開通	公共下水道の供用区域を拡大。新たに33.3haが水洗化可能に		総合病院ロゴマークの採用	消防無線用空中線(アンテナ)移設工事完了。老朽のサイレン塔は撤去。	秋田県統計グラフコンクールで3作品が特選を受賞	自動ドア破損事故

**叙勲・褒章受章者(地方自治功労・市の役職経験者)** (春)元消防監 奥村秀夫氏(瑞宝双光章) 元消防副団長 畠澤工氏(瑞宝単光章) (秋)元比内町長 大澤清治氏(旭日中綬章) 文化財保護協会事務局長 清野宏隆氏(瑞宝小綬章) 元消防団副団長 小坂正倫氏(瑞宝単光章) 元消防団副団長 田村政一氏(瑞宝単光章)

**物故者** 元田代町議 水戸嘉七氏(1/8) 元田代町議 佐々木貞氏(1/23) 市功労者 越前屋清氏(4/4) 市功労者 伊藤環之進氏(4/18) 元比内町議会議長 渡邊修治氏(4/21) 市功労者 小畑進氏(6/12) 市功労者 安部榮吉氏(9/4) 市功労者 岩谷正一氏(9/11) 元教育委員長 石田宏氏(10/1) 市功労者 大澤藤兵衛氏(10/14) 市功労者 布袋屋正(11/9) 元田代町議 小間屋實氏(11/26)